



## 和紙ちぎり絵・折り紙セット

おわら情緒を手軽に味わってもらおうと、富山市八尾町大杉の福祉作業所「ボランティアはうす風香」林のぶ子代表と、同市下奥井の中央印刷(吉田美恵子社

### 福祉作業所(八尾)印刷会社(富山)共同考案

長)は、八尾和紙を使ったちぎり絵セット「ひこぼし」と折り紙セット「おりひめ」を作った。優雅な踊り子の姿を、だれでも簡単に作れるように考案してある。

# おわら情緒作って満喫

「風香」では約三十年にわたり、障害者やお年寄りが地元特産の八尾和紙を使い、多彩な民芸品を手掛けている。観光土産の販売店で取り扱われていたところ、同印刷会社の宮口仁志さん(○)が素朴な作品の出来栄に感心し、印刷会社のアイデアを組み合わせた新しい商品を作ることにし



最近、塗り絵や計算など大人が脳をトレーニングする商品に人気が集まっていることから、宮口さんは手先を使うことに注目。「作ることにこだわってみたい。認知症防止などに役立つのではないかと期待を込める。ちぎり絵セット「ひこぼし」は、八尾の風景をバックに男女が踊る様子を描いた色紙を仕上げる。風景の部

## 風の盆PR 脳トレにも

分は印刷されており、踊り手の部分だけをちぎり絵で作る。セットに入っている型紙とカーボン紙を使い、必要な形を和紙に写し取り、ちぎって張る。原画は林さん(△)が書きためた作品から、緑豊かな山並みと井田川に架かるつり橋を背景とした一枚を採用。おわらの名歌「八尾四季」も書き添えられている。

折り紙セット「おりひめ」は八尾の風景画が印刷された色紙に、和紙を折って作った男女の踊り手を張って仕上げる。いずれのセットとも素朴な色づかいで、八尾和紙が持つ温もりが感じられる。林さんは「風の盆に訪れた人は、ちぎり絵や折り紙を仕上げながら思い出に浸ってほしい。訪れたことが

ない人でも、作ることをきっかけに、おわらを知ってほしい」と話している。両セットとも千八百九十円。八尾町の桂樹舎和紙文庫、神通川水辺プラザ「自然ふれあい学習館」などで販売している。既に県外からの申し込みもあり、郵送している。

問い合わせは中央印刷、電話076(432)6572。

おわら情緒を味わってもらうために作ったちぎり絵セットを紹介する林さん(左)と宮口さん(富山市八尾町大杉の福祉作業所「ボランティアはうす風香」)

持った温もりが感じられる。林さんは「風の盆に訪れた人は、ちぎり絵や折り紙を仕上げながら思い出に浸ってほしい。訪れたことが



タカラガイを模して作った土製品